

平成29年度委員長所信表明



全日本教職員連盟 第13代委員長 郡司 隆文

教育再生は学校現場から 教育専門職としての誇りを胸に

全日教連並びに教文研会員の皆様におかれましては大きな希望を胸に平成29年度をお迎えのことと存じます。この度、単位団体の御信任を賜り、第13代全日教連委員長の大役を仰せつかることになりました。本部役員一同、力を合わせて会員の皆様のために、子供たちのために、そして我が国の教育のために、全力を挙げて職務に当たる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

全日教連は今年度で結成以来34年目を迎えます。先輩諸氏が築き上げられてこられた揺るぎない「美しい日本人の心を育てる」という不動の理念のもと、我々は初心を忘れることなく、誇り高い教育専門職として、新しい一步を力強く踏み出していかなければなりません。

全日教連は、教育の最前線である学校現場の立場から、国民の負託に応える教育を確立するために以下の点を今年度の活動の重点とします。

【要望・提言活動の充実】

平成29年度予算が3月27日に成立しました。予算関連法案として義務標準法が改正され、これまで加配定数だった通級による指導及び外国人児童生徒への指導等に関する定数が基礎定数化されました。特に特別支援教育に係る定数が計画的、安定的に配置できるよう改善が図られたことは、これまでの全日教連の着実な活動が実を結んだ大きな成果と言えるでしょう。

また、次期学習指導要領が3月31日に示されました。情報化やグローバル化といった社会情勢の変化の中で、子供たちの将来を見通した様々な教育施策が盛り込まれています。「社会に関かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」等の実現、学習内容に目を向ければ、道徳や小学校高学年における外国語の教科化、高等学校における教科・科目の新設等が示されました。今後、小学校では平成32年度、中学校では平成33年度、高等学校では平成34年度からの完全実施に向けて、準備が進められます。一方、いじめや不登校等、子供を取り巻く教育課題がますます複雑化、多様化、困難化する中、学校現場における教職員の多忙化は、もはや限界に達しており、多忙化解消に向け一刻の猶予も無い現状です。どんな崇高な教育施策であっても、それを実施するための教育環境が整わなければ全ては絵に描いた餅になってしまいます。次期学習指導要領に掲げられている理念を学校現場において実現す

るためには、まずもって更なる教職員数の充実は不可欠です。また、教材費や図書費等義務教育に係る予算が、地方自治体によって大きく異なる現状を改善し、全国どこに生まれ育っても等しく義務教育を受けられるよう、国が責任をもって予算措置をしなければなりません。更に、「教育は人なり」と言われます。いかにAI（人工知能）が発達しようと、教育は人から人へと伝え授けていくものです。そのためには、教育を担う優れた人材を確保するための優遇措置を充実させなければなりません。全日教連は、政府、文部科学省をはじめとする関係省庁、国会議員に対し、教職員定数の更なる改善や義務教育費国庫負担金の拡充、人材確保法の尊重等のための文教予算や、多様な教育諸課題に対応するための教育関連予算の確保等を、「子供たちにとって何が最良なのか」という明確な基準をもとに、学校現場をあずかる教育専門職の立場から誠実に、そして真っ正面から要望・提言していきます。

【組織の強化・拡大】

全日教連は我が国の教育正常化を目指す教職員団体です。そのためには一人でも多くの同志を募らなければなりません。しかしながら教職員団体の組織率は年々低下しており、全日教連も例外ではありません。全日教連は教育正常化の旗を高く掲げ、各単位団体の実情に応じた組織の強化・拡大の方策を共に話し合い、考え、実行していきます。また、未組織地域に対しては「美しい日本人の心を育てる」教育を全国の教育現場へ広げるため、あらゆる方法で対話の道を模索し、組織拡大につなげていきます。

【質の高い研修の充実】

我々教職員は単なる労働者ではなく教育専門職です。従って我々は国民の負託に応えるために、常に研鑽に励み、自らの資質・能力の向上に努めなければなりません。また、社会の急激な変化や教育課題の複雑化、多様化、困難化に対処するため、我々教職員には様々な面で新しく、そして高度な専門性が求められています。全日教連は、各種研修会において校種や職種を超えて共に学び合い、研鑽を積むことができる研修の場を提供します。特に第34回教育研究全国大会（山口大会）では新しい大会主題のもと研究を深め、今後の教育の向かうべき姿を示せるよう万全の準備を行います。

全日教連の役員一同は、我が国の未来を担う子供たちのために、そしてそれを学校現場で支える全日教連という太い絆で結ばれた全国の同志の先生方が安んじて職務に専念できるよう全身全霊をもって前進していきます。

今後とも会員の皆様方の御支援、御協力をお願いいたします。

平成29年4月3日